

平成23・24年度 建設工事等級別の予定価格・総合点数表

九州地方整備局

工事種別	等級	予定価格	総合点数
一般土木工事	A	7億2,000万円以上	2,030 点 ~
	B	3億円以上 7億2,000万円未満	1,570 点 ~ 2,029 点
	C	6,000万円以上 3億円未満	980 点 ~ 1,569 点
	D	6,000万円未満	~ 979 点
アスファルト 舗装工事	A	1億2,000万円以上	1,120 点 ~
	B	5,000万円以上 1億2,000万円未満	900 点 ~ 1,119 点
	C	5,000万円未満	点 ~ 899
鋼橋上部工事	区 分 無		
造園工事	A	2,500万円以上	760 点 ~
	B	2,500万円未満	点 ~ 759
建築工事	A	7億2,000万円以上	1,650 点 ~
	B	3億円以上 7億2,000万円未満	1,260 点 ~ 1,649 点
	C	6,000万円以上 3億円未満	900 点 ~ 1,259 点
	D	6,000万円未満	点 ~ 899
木造建築工事	区 分 無		
電気設備工事	A	2億円以上	1,450 点 ~
	B	5,000万円以上 2億円未満	870 点 ~ 1,449 点
	C	5,000万円未満	点 ~ 869
暖冷房衛生 設備工事	A	2億円以上	1,340 点 ~
	B	5,000万円以上 2億円未満	870 点 ~ 1,339 点
	C	5,000万円未満	点 ~ 869
セメント・コンクリート工事	区 分 無		
プレストレスト・コンクリート工事	区 分 無		
法面処理工事	区 分 無		
塗装工事	区 分 無		
維持修繕工事	区 分 無		
河川しゅんせつ工事	区 分 無		
グラウト工事	区 分 無		
杭打工事	区 分 無		
さく井工事	区 分 無		
プレハブ建築工事	区 分 無		
機械設備工事	区 分 無		
通信設備工事	区 分 無		
受変電設備工事	区 分 無		

※「一般土木工事」、「アスファルト舗装工事」、「造園工事」においては、技術評価点がゼロ点企業は、総合点数にかかわらず、最下位等級となります。

※下記①及び②を満たす企業は、希望により一定期間内に経過措置を申請することができます。

①平成22年度末時点で等級区分のある工事種別に登録があった企業

②認定された①と同じ工事種別の登録について、次のいずれかに該当する場合

- i 今回等級が従来等級より下がり、最下位等級となった企業のうち、技術評価点数が0点でない企業
- ii 今回等級が従来等級より上がった企業

※「従来等級」とは、平成23年3月31日時点における平成21・22年度の認定等級をいいます。

※「今回等級」とは、平成23・24年度の経過措置適用前の認定等級をいいます。